

参考

2023年10月19日（木）

公益財団法人

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

マーケティング課 ブランド・チケットンググループ

（発表資料に関すること）

担当 栗原 加藤 佐藤

電話：052-746-9607（ダイヤルイン）

調整課 調整・広報グループ（その他大会に関すること）

担当 浅野 奥村

電話：052-951-2026（代表）

ウェブサイト：<https://www.aichi-nagoya2026.org/>

愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会スローガン・エンブレム制作検討委員会の設置について

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会では、2023年10月3日に愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会の開催都市契約が締結されたことから、愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会のスローガン・エンブレムの制作を進めていきます。制作にあたって、透明性・公正性を確保し、制作方針やコンセプト等について客観的観点からご意見・ご助言をいただくため、有識者から構成される「制作検討委員会」を設置し、制作の検討をしてまいります。

1 委員

[委員長] ひろむら まさあき 廣村 正彰 氏（廣村デザイン事務所代表取締役）

[委員] いとう とよつぐ 伊藤 豊嗣 氏（名古屋造形大学学長）

たぐち あき 田口 亜希 氏（日本財団パラスポーツサポートセンター推進戦略部ディレクター）

たなか りさ 田中 里沙 氏（事業構想大学院大学学長）

2 議題（予定）

- ・制作方針、制作コンセプト、クリエイティブの方向性について
- ・パラスポーツを通じたコミュニケーション（ワークショップ等）の実施方法について
- ・選定委員会委員の人選について

3 開催スケジュール

第1回 2023年10月19日（木）

第2回 2023年10月末から11月上旬を予定

- ※ 1）本委員会の第1回はオンラインで実施します。
 - ※ 2）今後、開催日程、会議内容等については、組織委員会HPにて随時更新してまいります。
 - ※ 3）検討段階の情報の公開は、審議に影響を及ぼす可能性があるため、委員会は非公開としますが、第1回委員会の概要は、後日資料配布を行います。
- なお、第2回委員会終了後に、これまでの検討結果を説明する記者ブリーフィングを実施する予定です。

愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会スローガン・エンブレム制作検討委員一覧

制作検討委員長



廣村 正彰 グラフィックデザイナー 廣村デザイン事務所 代表取締役

1954年愛知県生まれ。田中一光デザイン室を経て、1988年廣村デザイン事務所設立。グラフィックデザインを中心に、美術館や商業、教育施設などのCI、VI計画、サインデザインを手がけている。多摩美術大学客員教授、金沢美術工芸大学客員教授。主な仕事に、日本科学未来館、すみだ水族館、9hナインアワーズ、アーティゾン美術館、石川県立図書館、名古屋造形大学、LOFTのアートディレクション、東京2020スポーツピクトグラム開発など。主な受賞歴に、毎日デザイン賞、KU/KAN賞、SDA大賞、グッドデザイン金賞、DSA大賞ほか。著作『デザインからデザインまで』(ADP)他。

制作検討委員



伊藤 豊嗣 グラフィックデザイナー 名古屋造形大学 学長

1958年三重県生まれ。1981年三重大学教育学部美術科卒業。1984年デザイン事務所設立。主な受賞歴に、公益財団法人日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)ポスター大賞1993、JAGDA新人賞1994、第15回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ1996銅賞(ポーランド)、平成14年度名古屋市芸術奨励賞、上海万博(2010)・国際ポスターコンペティション名誉賞、第62回全日本広告連盟名古屋大会(2014)シンボルマークコンペ採用、Poster Stellars 2022 第2回国際ポスターコンペティション Political部門銅賞(アメリカ)他。



田口 亜希 公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター
推進戦略部ディレクター

パラリンピック射撃元日本代表。アテネ、北京、ロンドンと3大会連続でパラリンピックに出場。アテネでは7位、北京では8位に入賞。2016年オリンピック・パラリンピック招致活動では最終プレゼンターを務め、また2020年オリンピック・パラリンピック招致における国際オリンピック委員会(IOC)評価委員会ではプレゼンテーションを行なった。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、聖火リレー公式アンバサダー、選手村副村長としても大会を盛り上げた。日本パラリンピック委員会運営委員、日本オリンピック委員会理事も務める。



田中 里沙 事業構想大学院大学 学長

会社案内、企業広告を得意とする広告会社(広報、コーポレートコミュニケーション)を経て広告マーケティングの老舗雑誌「宣伝会議」に移籍。29歳で編集長に就任。「広報会議」「環境会議」等を創刊。オンラインメディア「アドバタイムズ」を開発。社会資本整備審議会、地方制度調査会、財政制度等審議会、中央環境審議会等の委員、政府広報アドバイザー。環境省「クールビズ」ネーミング、2020五輪エンブレム、伊勢志摩サミット、G20ロゴマーク選考委員を担う。2016年学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学学長に就任。新事業、地域活性、広報・社会構想の研究及び人材育成に従事する。